

## 「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

城 和貴<sup>1,a)</sup>

昔の話ですが、論文投稿というのは検討に検討を重ね、ミスのないように十分に推敲して万全の体制で、郵送で行ったものです。現在は Web でポチっとできるので、記載ミスが多いですね。現在よく見受けられるのが、題名の変更、著者の変更などです。これに関しては以前に言及したことがあるのですが、めでたく投稿論文が採択され、最終原稿を用意する際に注意すべきことがあるのを、知らない人が増えてきているようです。論文が採択されたということは、その原稿に書いてあることが編集委員会で認められたのであって、採録原稿から最終原稿にする際に、原則修正はできません。その後の実験でより良いデータが出たからといって、新しいデータを載せると採録が取り消されてしまいます。もちろん、題名や著者名もです。最終原稿で修正してよいのは、査読者の気付かなかったような軽微な文章表現のみとなります。

さて、2013 年度最後の TOM の発刊です。今号では、2012 年 9 月開催の MPS90 (小樽)、2013 年 5 月開催の MPS93 (北大)、2013 年 9 月開催の MPS95 (熊本大)、2013 年 12 月開催の MPS96 (東工大) に投稿されて採録された論文、いずれもオリジナル論文の 10 編を掲載しています。TOM38 の採録論文数/投稿論文数は 10/22 で、採択率は 45% となっており、担当編集委員は小野智司、北栄輔、鈴木智也、高間康史、但馬康宏、田原康之、西野哲朗、花田良子、林田守広、馬場謙介、藤野昭典、堀田一弘、堀井宏祐、棟朝雅晴、山口一章、山本雅人、吉川大弘、吉田稔、渡邊裕司 (敬称略) となっています。

TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方は城 (joe@ics.nara-wu.ac.jp) までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。な

お、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

<sup>1</sup> 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長  
奈良女子大学

Nara Women's University, Nara 630-8506, Japan

a) joe@ics.nara-wu.ac.jp